

## 生育は「3～4日程度早く、生育旺盛」

### 1. 水稻の生育状況(あきたこまち)

前回の調査日(6月7日)以降、気温が高く晴天日が続いたため葉齢から見た生育は3日～4日程度早く推移しており、全ての項目において平年を上回っております。代枯れ症状や還元状態等により停滞気味の圃場では、以下を参考に生育の回復に努めてください。

また、茎数過多の圃場については中干し前に一週間程度の深水管理による茎数抑制を図る等の管理に努めてください。

水稻定点調査圃の生育状況(6月19日) ※平年値は最高値と最低値を除いた過去10年の平均

品種(平均)	草丈(cm)		茎数(本/m <sup>2</sup> )		葉齢(葉)		SPAD	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
あきたこまち	33.3	30.2	254	188	7.6	7.1	44.5	40.7
(慣行)	30.9		155		7.1		44.2	
(側条ペ-スト等)	34.6		325		7.8		44.7	
前年比	123%		141%		+0.8 葉		118%	
平年比	110%		135%		+0.5 葉		110%	
たつこもち	34.8	32.6	252	211	7.8	7.2	41.6	39.1
きぬのはだ	37.0	32.4	274	224	7.6	7.5	41.7	38.2
ときめきもち	33.3	30.8	285	195	7.6	7.2	42.4	38.2
サキホコレ	34.9	27.7	425	219	8.2	7.1	43.3	40.4

### 2. 今後の技術対応

#### 1) 水 管 理

「上位葉の葉先の黄化」「発根が少ない」「葉が細い」などの還元障害の症状により、分けつの発生が少ない圃場では、晴天日に3日～4日程度落水してから水を入替え、茎数確保に努めてください。また、葉色を除いた生育量が極端に少ない圃場は、硫酸を10a当たりN成分量で1.0kg程度を目安に追肥を実施してください。

なお、順調に茎数が確保されている圃場については、葉齢9葉を目安に中干し・溝切りの準備を進めてください。

#### 2) 病虫害防除

##### ・イナゴ

例年に比べ発生量は少なめとなっております。今後、食害が目立つ場合には畦畔沿いにつぎの薬剤を散布し防除してください。

- ①「トレボン粉剤DL」2～3kg/10a      ②「トレボン乳剤」1,000～2,000倍

**※ 圃場での「ばか苗」は、見つけしだい抜取りをよろしく願います。**

「水稻技術情報」<https://www.ja-ogata.or.jp/farming2/>をホームページで閲覧の際は、これまで必要だったパスワード入力なしで閲覧可能になりました。

※水稻以外の技術情報は、これまで通りパスワードの入力が必要です。